

## 4-1-10-3 母性内科

### 1. 概要、特色

病気をもつ女性が妊娠する場合の内科的ケア、すなわち合併症妊娠の管理は当科にとって重要な業務である。若年女性に好発する甲状腺疾患・膠原病などの自己免疫疾患、慢性腎炎、若年性高血圧症などは病気が妊娠経過・胎児発育に大きな影響をおよぼすことがあり、また妊娠・分娩がきっかけで母体の病気が悪化することもある。さらに妊娠中毒症のような合併症（妊娠合併症）が出てくると、胎児の発育に大きな影響がでる。このように「母親と子ども」を健やかな状態に保持するために合併症妊娠・妊娠合併症の管理が大変重要である。非常勤医を含め6人の医師があり重症心疾患を除く疾患をカバーできるようになっている。

母性内科単独で完結する症例はほとんどなく、合併症妊娠は産科・不育診療科・新生児科、非妊娠時には婦人科や不妊診療科などとの連携が必要となる。また、こころの診療部に関わっていただく症例も決して少なくない。キャリアオーバー患者においてはもちろん主治医である第一・第二専門診療部の先生方からのご紹介・サポートがなければ始まらない。このようにいろいろな科の先生方、コメディカルの方々と連携して総合的な診療を展開している。

一方、妊娠女性を内科的に診療する立場から妊娠と薬に関する問題は重要なテーマである。2005年10月にオープンした妊娠と薬情報センターの構成メンバー、特に外来担当として大きく関わっている。

### 2. 診療・研究活動

#### 2.1 母性内科外来

まず、外来であるが、平成19年4月1日より20年3月31日まで当科外来を受診した患者はのべ8,500人であり、18年度に比べ約1.5割増であった。受診理由の主なものは**合併症妊娠、妊娠合併症**である。合併症妊娠のなかでは甲状腺疾患が最も多く、次に気管支喘息であった（図参照）。妊娠合併症のうち主なものは気管支炎、高血圧、不整脈、耐糖能異常、尿所見異常であった。一方、現在は妊娠していないが体調を整えてから妊娠に望みたいという女性に対しても内科的診療を行っている。高血圧症、糖尿病など生活習慣病のある女性、関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなどの自己免疫疾患を持つ女性をはじめ健康上の様々な不安を持つ女性が利用している。この中には不妊、不育に悩む女性も多く、該当各科と連携した診療を行っている。

また、妊娠中に耐糖能異常があった症例、産後の悪化の可能性のある膠原病を中心に産後のケアも行っている。

#### 2.2 特殊外来

母性内科では**女性総合外来**も担当している。これは他の項で扱うのでここでは省く。2005年10月から厚生労働省の委託事業として発足した**妊娠と薬情報センター**の外来業務（**妊娠と薬外来**）を当科スタッフ全員が担当している。詳細については他項を参照されたい。

#### 2.3 病棟

産科入院の症例についても内科的問題をもつ場合には併診という形をとっており、それらを含めた母性内科担当入院患者は658名で、内訳は妊娠糖尿病などの代謝障害が154名と最も多く、バセドウ病などの甲状腺疾患を含む内分泌疾患が104例、妊娠高血圧、不整脈などの循環器疾患が103名、気管支喘息などの呼吸器疾患が62名、SLE、抗リン脂質抗体症候群などの膠原病は57名と続いている。また、抗リン脂質抗体症候群の患者については不育診療科、産科と密に連絡を取り合いながら診療を行っていて、良好な治療成績を得ている。

#### 2.4 研究活動

- 成育委託研究城班において「内科医の立場からみた成育医療推進のためのネットワーク作り」

というタイトルで分担研究。

- 抗甲状腺薬の妊娠中使用のリスクに関する POEM スタディを妊娠と薬情報センターと合同で行っている。
- 耐糖能障害のある妊婦の管理に関する臨床的研究。
- インフルエンザワクチンの妊婦への接種の安全性、有効性および胎盤移行性の研究。
- 挙児希望の関節リウマチ患者に対する生物製剤（エタネルセプト）の投与に関する検討。
- 妊娠中の服薬の安全性に関しては厚生労働科学研究吉川班の分担研究として「臨床および非臨床のデータに基づく医薬品の催奇形性のリスク分類に関する研究」というテーマで研究。
- 国立病院機構との共同研究費による「女性・母性医療の基となる病態診断・予知のための妊婦の基準値の設定」の研究。

### 3. 研修、評価

毎週金曜日に研究会、抄読会、カンファランスを行っている。

### 4. 社会的活動

各種講演会

- 妊娠を希望している女性患者のリウマチ治療. 第23回ひがし東京リウマチ, 東京, 2007. 5. 29
- リウマチ患者の妊娠と薬物治療. 第6回日本リウマチ実地医会, 京都, 2007. 9. 23
- 「母体と（胎）児にとって適切な薬物療法」の情報提供. 第110回日本小児科学会学術集会, 京都, 2007. 4. 20
- 挙児希望リウマチ患者への薬物療法. Japan Biological Summit 2007, 東京, 2007. 10. 27
- RAにおける妊娠と薬物療法. 河田町リウマチカンファランス, 東京, 2007. 11. 22
- 妊娠と薬情報センターの展望. 厚生労働省医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究推進事業 妊娠と薬—リスク分類の現状と新たな展開—, 東京, 2008. 2. 10
- RAにおける妊娠と薬物療法. 第7回関西膠原病フォーラム, 京都, 2008. 3. 8

図、母性内科入院患者の疾患内訳（合計 658 名、妊婦、非妊婦を含む）

